



# CSRマネジメント

## CSR担当役員からのメッセージ

環境問題の克服と農産物の増産の2つを使命として誕生した住友化学グループは、創業以来、事業を通じて社会課題を解決していくという精神をDNAとして受け継いできました。

パリ協定や国連持続可能な開発目標 (SDGs) ※1の発効など、国際社会が、持続可能な社会の実現に向けて大きく変わろうとしている中、企業には創造性やイノベーションを発揮し、事業を通じて社会に貢献することが期待されています。今日の企業経営にとり、持続可能性 (サステナビリティ) は、重要なキーワードとなっています。

当社グループは、「社会の信頼に応えることを最も大切にする」という住友の事業精神を行動の規範とし、これからも一人ひとりが高い使命感をもって日々の業務に取り組んでいくために、SDGsを積極的に活用することを2017年度のCSR年度方針において明確にしました。これからも持続可能な社会の発展に大きな役割を果たすことで、国際社会の信頼に応え続けていきます。

※1 持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) : 国連に加盟する全ての国の合意により2016年からスタート。SDGsでは持続可能な世界を目指し、貧困、食糧、健康、教育、ジェンダー平等、エネルギー、環境、気候変動などの地球規模の課題解決に向けた17の目標が定められている



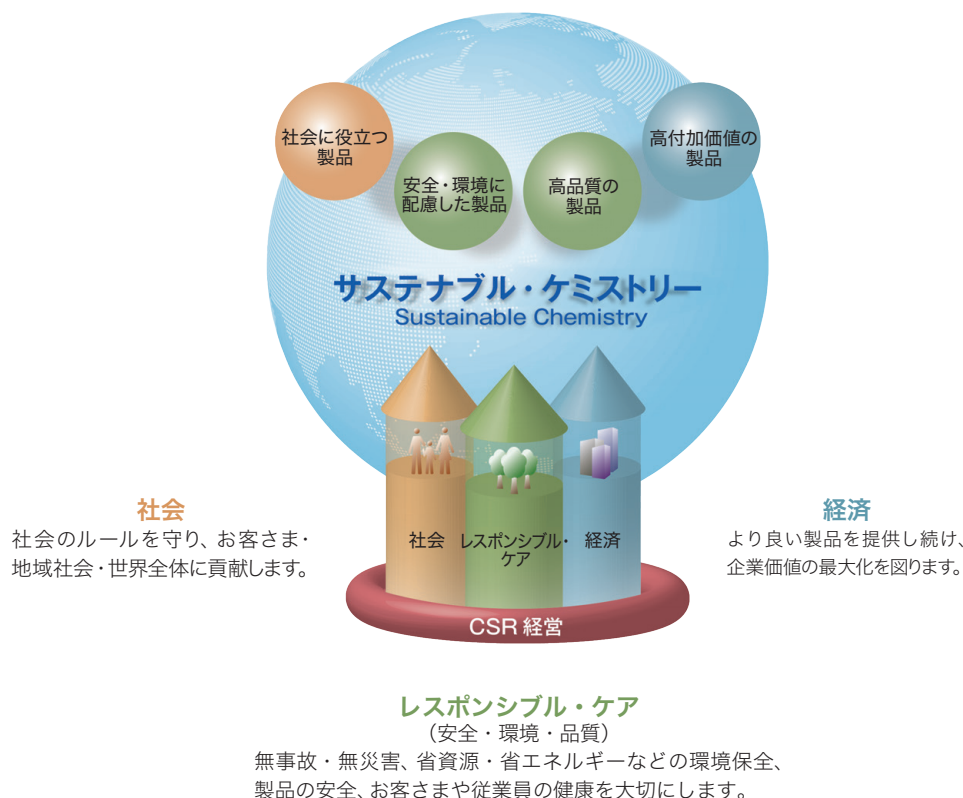
常務執行役員  
新沼 宏

## 基本的な考え方

住友化学は、「住友の事業精神」や「住友化学企業行動憲章」を踏まえて、2004年11月に「CSR基本方針」を制定しました。さらに2015年4月からは、住友化学グループの基本方針へと改訂しました。

CSR基本方針では、当社グループは経済性の追求だけでなく、安全・環境・品質保証活動、社会的活動のそれぞれに積極的に取り組むことで、社会の持続可能な発展に大きな役割を果たし、同時に自らも発展を続けることを掲げています。

### 住友化学グループのCSR



### CSR基本方針

住友化学グループは、新しい価値を生みだし、提供しつづけることによって、企業価値を向上させ、人々の豊かな暮らしづくりや、私たちの社会や地球環境が抱える問題の解決に貢献してまいります。

そのためには、住友化学グループは経済性の追求、安全・環境・品質保証活動、社会的活動のそれぞれに積極的に取り組み、また株主、社員、取引先、地域社会の方々等、関係するあらゆるステークホルダーの皆様の関心に配慮しながら、CSR活動を推進してまいります。これらの取り組みを通じて、社会の持続可能な発展に大きな役割を果たし、同時に自らも発展を続け、住友化学グループが21世紀に目指す姿である「真のグローバル・ケミカルカンパニー」となることを実現したいと思っております。

#### 企業理念

URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/company/principles/>

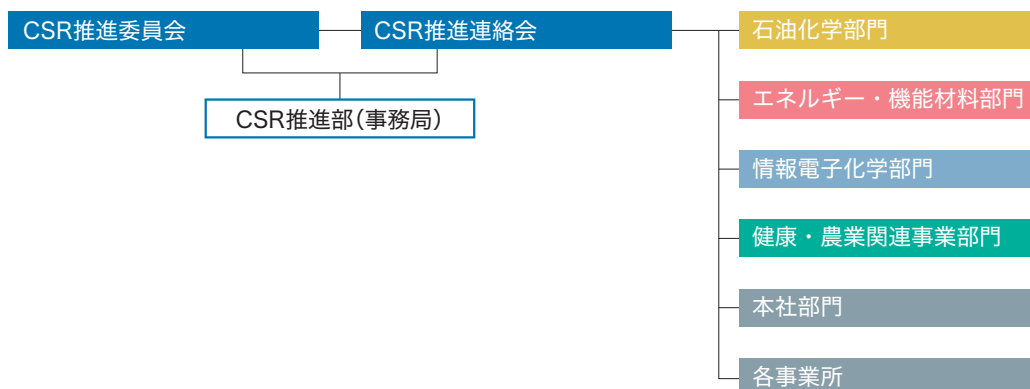
### CSR推進体制

「CSR基本方針」に基づき、住友化学グループのCSR活動を長期的視野から総合的に推進するため、2012年より「CSR推進委員会」を設置しています。同委員会は、社長を委員長とし、本社・事業部門の役員から構成され、CSR活動年度方針の決定、周知徹底、グループ全体におけるCSR活動実績に関する分析・評価を行っています。

2016年度CSR推進委員会では、サステナビリティは企業経営における重要な社会的責任であると捉え、2017年度のCSR活動年度方針を当社グループの年度方針としました。また、この年度方針に基づいて策定された各部門のCSR活動計画が各委員より報告され、同委員会で承認されました。

年度方針および各委員の活動計画は、業務ライン等を通じて共有され、各所および国内外のグループ会社で具体的な活動計画を策定し、CSR活動を推進します。

#### CSR推進体制



グループ全体のCSR活動のより一層の促進を図るために、海外グループ会社では、2013年度より、世界4極の地域統括会社のCSR担当者による「グローバルCSRミーティング」や、各地域における「リージョナルCSRミーティング」を通じて、グループ年度方針やCSR活動の共有を行っています。

また、国内グループ会社では、2016年度より「国内グループ会社CSR連絡会」を開催し、グループ年度方針および全委員の活動計画の共有を行っています。

## 2017年度CSR活動年度方針

2017年度CSR活動年度方針では、「事業を通じて社会に貢献する」という住友化学グループのCSRの考え方を踏まえ、「一人ひとりが、社会とのつながりを常に意識して、業務に取り組む」ことに重点を置いています。

また、事業と社会とのつながりを理解し、行動に結びつけるために、あらゆるステークホルダー間の共通言語であるSDGsを積極的に活用することとしました。

年度方針の実現に向けた具体策として、SDGsをテーマとした社員参加型プロジェクト「2017年度サステナブルツリー」を実施します。

### 住友化学グループのCSR推進活動「グローバルプロジェクト」

国内外のグループ役職員を対象とし、一人ひとりが社会の課題解決に向け考え行動し、グループの一体感も醸成する「グローバルプロジェクト」を2014年にスタートさせました。

2015年度からは、各自が社会の課題解決について関心のある取り組みをパソコンやスマートフォンからグループ専用ウェブに投稿出来る仕組みにしました。

2016年度は、2016年1月に発効されたSDGsの17の目標に対して、自分の仕事や生活における社会の課題解決への貢献を考え、その取り組みを専用ウェブへ投稿する「サステナブルツリー “持続可能な社会の実現に向けて私たちにできること”」を実施しました。投稿募集期間の100日間で、国内外のグループ会社から6,000件を超える投稿が寄せられ、このうち仕事における貢献の投稿は1,270件となりました。

2017年度は、SDGsの17の目標に関連する仕事や職場の取り組みを投稿する「サステナブルツリー第二弾 “未来に向けて！社会とつながるSDGs”」を実施しています。

トップメッセージ 持続可能な社会の発展に向けて  
URL [http://www.sumitomo-chem.co.jp/csr/top\\_message.html](http://www.sumitomo-chem.co.jp/csr/top_message.html)

## ステークホルダーとのコミュニケーション

住友化学グループは「CSR基本方針」において「関係するあらゆるステークホルダーの皆さまの関心に配慮しながら、CSR活動を推進していくこと」をうたっています。ステークホルダーの皆さまへの責任を果たしていくとともに、事業活動のみならず社会貢献活動、地域対話などのさまざまな機会を通じて、コミュニケーションの充実に努めていきます。